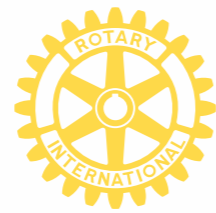


2014-2015 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 3



Rotary
District 2510



はぶあ
ナイス
3月

松尾芭蕉(1644年生-1694年没)は、江戸時代前期の俳諧師で、日本を代表する俳人である。現在の三重県伊賀市の生まれで、幼名は金作。通称は菖七郎、菖四郎。名は忠右衛門宗房と名乗り、俳号は宗房次いで桃青、芭蕉と改めた。北村季吟門下である。

芭蕉が弟子の河合曾良と伴い、元禄2年(1689年)3月27日に江戸を立ち東北、北陸を巡り岐阜の大垣まで旅した紀行文「おくのほそ道」は有名である。この旅は、西行や能因らの歌枕や名所旧跡を巡る目的で、多くの有名な名句が詠まれた。

草の戸も住み替わる代ぞ雛の家：東京都(江戸)深川 夏草や兵どもが夢の跡：岩手県平泉町
閑さや岩にしみ入る蝉の声：山形県・立石寺 五月雨をあつめて早し最上川：山形県大石田町
荒海や佐渡によこたふ天河：新潟県出雲崎町

3月に出発した旅は8月下旬に大垣に到着して終えた。その行程は5ヶ月600里今で言えば2400キロの旅であった。その後伊勢神宮に参拝し、京都には12月に入り、年末は近江義仲寺の無名庵で過ごした。この近江から多くの蕉門が輩出され、芭蕉も特に気に入って滞在したことが窺える。

元禄7年10月5日に大阪御堂筋の花屋仁左衛門(東本願寺難波別院の花子)の仮屋敷に移り、門人達が看病した。8日「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」を読んだ。この句が辞世の俳諧となった。12日の午後4時頃芭蕉は51歳の生涯を閉じたのである。芭蕉の遺言によって滋賀県の義仲寺で葬儀が行われ、木曾義仲の墓の隣に葬られた。

芭蕉の句は、音の世界を取り上げた即ち聴覚の句を確立した作家と言えるのではないかと山本唯一大谷大学名誉教授は言う。又「しかも夜の音を耳に聞こえてきたところを詠む作家だ」と評されている。

CONTENTS

- ガバナーメッセージ 1
- 国際協議会報告 2~3
- 地区ガバナー補佐会議(中間報告) 4
- 「第11回 財団学友帰国報告会」を終えて 5
- 岩城 秀晴バスターガバナーを偲んで 6~7
- 札幌南ロータリークラブ創立50周年記念式典報告 8
- ローターアクト週間に因んで 9
- 地区内ローターアクトクラブのご紹介 10~11
- 初めての友情交換事業—今度は派遣事業です— 12
- クラブ紹介/サンパウロ国際大会日本人親善朝食会中止のお知らせ 13~14
- 特集/姉妹クラブのご紹介 ~パート2~ 15
- 私の雑想ノート/職業奉仕委員会から/米山便り 16
- 米山記念奨学会・ロータリー財団へのご協力への感謝/My Rotaryにご登録下さい 17
- 新会員のご紹介/訃報/文庫通信 18
- 出席率・会員数 19
- 地区カレンダー(3月・4月) 20

識字率向上月間
(Literacy Month)

国際ロータリー第2510地区
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌南RC)



ユネスコの推計によれば、世界で15歳以上の8億人の人が基本的な読み書き能力がなく、女性・女子は世界の非識字人口の64%以上を占めています。この割合は1990年以降ほぼ変わっていません。RI理事会は、世界中で識字能力の大切さを強調するとともに、独自の識字率向上プロジェクトを開発し、ロータリアンが世界で行う非識字根絶の取り組みについて広報する絶好の機会をロータリークラブと地区に与えるため、3月を識字率向上月間と定めています。

ライトハウス識字プロジェクトについて、1997~98年度国際ロータリー識字・計算能力向上実行グループは、発展途上国の10億人に識字率向上を推進するキャンペーンを具体化し、世界中のロータリアンに参加するように呼びかけました。RIのこの識字率向上プログラムは「ライトハウス(灯台)作戦」と名付けられ、この運動は、タイで最初の実施され、その後多くの発展途上国で成功を収めています。灯台が安全な航路を示すように、識字を通じて人々に歩む道を示すことを目的としています。

今年2014-15年度のRIテーマは「ロータリーに輝きを」です。このテーマを国際協議会で聞いた時、お釈迦様の最後の言葉を思い出しました。それは「自燈明 法燈明」「自帰依 法帰依」という言葉です。これは「自らを灯し火とし、自らを拠り所とせよ 他を頼りにしてはいけない」が前段にあって「法を灯し火とし、法を拠り所とせよ、他の教えを拠り所にしてはいけない」の二点からなっています。釈尊の最後の言葉は、自分が亡くなった後、頼りになるものは、修行する「自分」と「法」の二つであるということでした。しかしこの二つは一体であると考えられるのです。それに大切な印が付けられているからです。法印と申します。三法印・四法印として仏教の目印になっているのです。三つの場合は一つに諸行無常(あらゆる現象は変化してやまない)二つに諸法無我(すべ

ての存在は不変の本体を持っていない)三つに涅槃寂靜(迷いの消えた悟り境地は静かな安らぎである)の三つを挙げて三法印と言っています。これに一切皆苦(迷いの存在にとってすべては苦しみである)を加えて四法印と言っています。

話が少し横道に逸れました。戻してライトハウス(灯台)作戦を考えてみましょう。航海をする上で灯台の灯明は道しるべとなります。ロータリーがこの作戦を開発する経過を調査すると、3Hプログラムから生まれた作戦であると教えられました。RIのテーマ「LIGHT UP ROTARY」は世界中で困っている人に善意を以て奉仕する時、世界中を輝かせることになるゲイリー・ホアン会長の言葉です。仏教的には私の人生に於ける灯台が「法燈明」という灯し火です。それが人生を歩む道しるべとなるのです。将来を担う子供達を育成するために識字が不可欠です。又人生を迷わないように教えが不可欠です。海の航海には灯台の灯明が必要です。人生の航路にも羅針盤が必要になると考えています。識字によって人生を豊かに暮らすためにロータリーの識字プロジェクトがあります。

識字プロジェクトの実際例を少し紹介します。我が2510地区ではこの10年以上タイのチェンマイ地区・ノンカイ地区・アムナットチャロエン県に地区WCS委員会や地区国際奉仕委員会で地区補助金やマッチング・グラントを使った事業を推進して参りました。大きな成果を挙げていることは周知の事実です。昨年11月29日~12月3日の5日間3地区に実施した奉仕プロジェクトの検証ツアーに参りました。3地区で実施された図書館事業や図書への贈呈について感動的な事業であることを確認して帰国しました。「世界で良い事をしているロータリー」を再確認することが出来ました。次年度、会長さんも一緒に参加してみませんか。

国際協議会報告

国際ロータリー第2510地区
ガバナーエレクト 嵯峨 義輝 (岩見沢RC)



1月18日から25日までの日程で、国際協議会が開催され参加してまいりました。

17日に成田に前泊し、翌18日、2015年国際協議会会場であるマンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴに着きました。

ホテルの前で、田中作次元RI会長をはじめ北RI理事、SAA、研修リーダー皆さんが拍手で出迎えてくれたのには驚き感激しました。この方たちの指導、サポートをいただきながらこれからの1週間、研修を積むのだなということに改めて感じた瞬間でした。日本からの34名をはじめ、世界各国から537名のガバナーエレクトとその配偶者のハードな研修が始まります。

その日に1回目の本会議が招集されました。今回、「協議会史上初めて」ということが何件かありましたが、到着当日に本会議が開催されたのもそのひとつです。

この第一回本会議において、ラビンドランRI会長エレクトが2015-2016年度テーマを発表しました。「この場にいらっしゃる皆さんは、多くを与えられた人たちです。皆さんに最高の

プレゼントが与えられようとしています。それは世界へのプレゼントになることのできる一年です。次年度皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」“Be a gift to the world” “世界へのプレゼントになろう”が発表され、会場はスタンディングオベーション、拍手の嵐でした。その間、巨大なスクリーンに映った2015年7月から2016年6月までの白紙だったカレンダーのすべての日々が、次々とロータリーマークで埋められていき、与えられた一年を全力でロータリー活動に向けるよう求められました。



翌日からは本会議、分科会等プログラムが隙間なく組まれています。本会議では、RI会長、会長エレクト、元会長、財団管理委員長等RI幹部の講演があり、感銘深いスピーチにこの場に居れることの幸せを感じました。又、分科会では、われわれより1週間前に現地に乗り込み、研修担当役員としての特訓を受けた研修リーダーの指導のもと、テーマ別にグループ討論を通してのセミナーが行われ、時には厳しく、時には優しく丁寧にガバナーとしてのあり方を研修させていただきました。



パソコン持参で参加するように要請されたことも、国際協議会史上初めてです。

RIはロータリークラブ・セントラル、My Rotaryへの登録を強く求めています。目標へ向けての現状把握等、目的はいろいろあるようですが、大きな要素の一つは、これらにクラブ活性化の、又、ロー



写真提供：「ロータリーの友」

タリーライフを有意義にするためのリソースが盛り沢山掲載されているからだと思います。今回は、ホテルのWi-Fi環境に不備があり、十分な研修ができませんでした。日本事務局から習熟した講師を招き、地区内の皆様に有用な情報を提供したいと考えています。

毎日行われる本会議でラビンドランRI会長エレクトが何度かスピーチしました。毎回必ず、長い時間をかけて話していたことは、会員の増強でありました。世界で、地域でよいことをするためにも、ロータリーの多様性を守るためにも、勿論ポリオを撲滅するためにも会員基盤の確立がぜひとも必要だと強調されていました。「よし、地区でも是非とも会員を増強しよう」と、意を強くした次第です。



多くの国のロータリアンとも交流ができました。ハードではありましたが、実に感動的な国際協議会から、1月26日に帰ってまいりました。

このような素晴らしい機会を与えてくださった皆様に、心から感謝申し上げますとともに、与えられた任務を精一杯、全力で務めさせていただく決意を申し上げ、報告とさせていただきます。



平成27年1月24日 地区ガバナー補佐会議(中間報告)



2014-2015年度のガバナー補佐会議(中間報告)が、平成27年1月24日ルネッサンスサッポロホテルで開催されました。

当日は羽部 大仁ガバナー、武部 實ガバナーノミニー始め、ガバナー補佐11名、地区役員13名が出席しました。

会議では、羽部ガバナーのごあいさつに続き、各ガバナー補佐から上半期活動報告、下半期活動計画について詳細に発表がありました。

一昨年12月初のガバナー補佐会議から約1年が経過し、色々な会合公式訪問等で何度も顔を合わせており終始和やかな雰囲気では進みました。各グループ内のクラブの特色のあるユニークな活動についてガバナー補佐から報告があり、今年度初めて9月に行われたロータリーデーについての各クラブの取り組みが報告されました。

更に地区初めての行事であります、1月10日から15日まで行われた台湾第3490地区との友情交換について、関係したグループのガバナー補佐から報告がなされました。

またIM(インターシティ・ミーティング)については、今回のガバナー補佐会議開催時点で、開催されているのは第10・11グループだけでしたので、第10・11グループからはIMの報告また他のガバナー補佐からは今後の日程、内容について報告がありました。

その後、ロータリーの友12月号に掲載された、2020年新



世紀ビジョンの提案について羽部ガバナーから説明がありました。

続いて地区幹事からは、昨年の10月にRI理事会で決定された来期からの特別月間の大幅変更について、新しい人頭分担金支払いシステム「クラブ請求書」について、また本年度で終了するSAKUJ1作戦についてそれぞれ説明と報告がなされました。

会員増強については、平成26年12月末時点での会員数が7月の期首より81名増員になり地区会員数が2578名になっている旨の報告がなされ、羽部ガバナーからは今年度の会員増強の目標が、純増101名であるので下期も会員増強に努めてほしいと各ガバナー補佐に要請がありました。

その後、ロータリー米山記念奨学金、ロータリー財団の各寄付の現状について、上期は今のところ順調に推移している旨報告がなされました。

最後に下期の日程の説明があり、4月の韓国3700地区の地区大会、6月のブラジルでの世界大会への参加の呼びかけが行われました。

その後、活発な意見交換が行われ、会議の後にぎやかに懇親会が行われました。

(田澤 泰明)

「第11回 財団学友 帰国報告会」を終えて



地区財団学友委員会
委員長 菅原 秀二(札幌大通公園RC)



2015年1月31日(土)に、財団学友会の10周年記念式典以来のセンチュリーロイヤルホテルで、「第11回 財団学友帰国報告会」が当委員会と財団学友会の共催で開催された。ここ何年かは、この会に合わせて「財団学友会総会」も開催されているので、われわれにとっては1年間で最大の行事となっている。今年も学友とロータリアンを合わせて40名以上の方にご出席いただき盛会となった。その全員での集合写真を示しておく。お忙しいところ、ガバナーを始め、ガバナーノミニー、ガバナー補佐の皆さま、財団委員長や他の地区委員会の委員長の皆さま、それといくつかのクラブから会長や国際奉仕委員長などのロータリアンのご出席をいただき、この場を借りて謝意を表しておきたい。

15時からの「財団学友会総会」がつつがなく終了したのち、16時より「財団学友帰国報告会」が開始された。まずは、この間、奨学生や学友会に対して支援を惜しまれなかった、岩城前財団委員長(バスタガバナー)を偲んでの黙禱で幕を開けた。岩城バスタガバナーはこの会のちょうど1週間前にお亡くなりになった。学友で先週のご葬儀に参列できた者はほとんどいなかったの、このような形で生前のご活動のお礼としたかったのである。

さて、今年の報告者の特徴は、いわゆる新奨学金の奨学生が帰国し、その初めての報告会であったということである。もっとも、最初の報告者は昨年の帰国報告会で報告を予定していたが、当日体調不良で報告できなかった影山郁恵さん(江別RC推薦)であった。国際親善奨学生として、フランスで1年間勉強されてきた「フランスの言語教育」についてのお話であった。また、「シャビルロータリークラブでの活動」についても、詳しくお話しされ、充実した留学生活をおくれたことを示していただいた。

その後、齊藤博司地区奨学金委員会委員長より、新しい奨学金の制度の説明をしていただき、初めての地区の奨学生である鈴木抄織さん(札幌大通公園RC推薦)と畑村奈津子

さん(千歳セントラルRC推薦)の報告に入った。鈴木さんは3カ月、畑村さんは6カ月の文化研修生である。語学学校に通学しながら、鈴木さんはイタリアの食文化(特にスローフード)、畑村さんはアメリカにおける愛がん動物保護について研修を積まれて帰国された。お二人とも大学院生ではなく、社会人であり、ご自分の仕事と関係する研修をしてきたということで、とても楽しく充実した留学生活を過ごされたようである。

この経験を活かして、今後、この地区で活動を広げていくことが期待される。写真で報告会の様子を示しておく。なお、鈴木さんは4月から10月まで、ミラノ万博日本館のアテンダントとして、再びイタリアに行くことが決まっている。これも、留学の成果だと言えるか。

また、帰国報告会では、出村知佳子地区青少年奉仕委員長と松原重俊地区国際奉仕委員長に、3月より開始予定の「職業訓練支援事業」について、ご説明いただいた。これは、VTTを始め、国際奉仕や青少年奉仕を含めた地区の事業であり、来年は報告会でこの事業のご報告をいただくことになる。また、その団員はGSEの時のように帰国後、学友となることが決まっている。来年のご報告を楽しみにしている方々も多いと思う。なお、学友の一員である道新の記者がこの事業に興味を示していた。是非、新聞の記事になればと願っている。

帰国報告会の後、全員で集合写真を撮り(上記の写真)、懇親会となった。その様子のスナップも一枚示しておく。懇親会では、恒例のビンゴゲームも行われ終始、和やかにロータリアンと学友が懇談することができた。なお、ガバナーノミニー始め数名のロータリアンも学友とともに2次会にも参加され、近くのイタリアン居酒屋で遅くまで盛り上がった。さらに、すすきのまで繰り出し3次会が深夜まで開催されたが、その詳細は不詳である。来年も、同じ時期に「第12回財団学友帰国報告会」が開催される予定である。地区の行事としてすっかり定着したこの会に、また多数のご出席をいただければ幸いである。



岩城 秀晴

パストガバナーを偲んで

【ロータリー歴】

- ・1976年5月 札幌南ロータリークラブ入会
- ・1985年7月～1991年6月 地区青少年交換委員
- ・1990年7月 札幌南ロータリークラブ会長
- ・1992年7月～1995年6月 地区米山奨学委員長
- ・2001年7月 RI第2510地区ガバナー
- ・2005年7月 地区ロータリー 100周年記念委員長

- ・2007年7月～2013年7月 地区ロータリー財団委員長
- ・2010年 RI世界大会(モントリオール)信任状委員
- ・2011年 RI第1ゾーン理事選出委員長
- 財団メジャードナー(II)
- 米山功労者メジャードナー
- 35年賞出席(2012年)表彰



国際ロータリー第2510地区 2014-2015年度ガバナー 羽部 大仁 (札幌南RC)

岩城秀晴パストガバナー(2001-02年度ガバナー:札幌南RC)を偲び、1月25日の通夜と26日の葬儀に参列させて頂きました。26日の葬儀では、地区を代表して弔辞を述べさせて頂きました。(これはその時のものを少し編集したものです。)

岩城先生の訃報を24日の午前中、地区ガバナー補佐会議での打合せ会席上お伺いしました。我耳を疑いました。急には信じることが出来ないほどでした。先生は柔道で鍛えた身体で、いつも若々しく、10歳くらい若いのではと思うくらいはつらつとしてご活躍を戴き、地区の重臣としていつも親身なご指導を戴いておりました。

国際ロータリーの今年度のテーマ「ロータリーに輝きを」を推進している今、私が何時も信頼し、敬愛している岩城パストガバナーを失うことは、筆舌に尽くし難い辛い悲しい事でございます。

思い起こせば、先生がガバナーにご就任されたのは2001-02年度でございます。その年度最大の行事である「地区大会」に、リチャード・キング会長代理として派遣されたのが今年度国際ロータリー会長のゲイリー.C.K.ホアン会長でした。

昨年の国際協議会でお話しをする機会があり、ゲイリー会長エレクトは「札幌の地区大会にお越しになられたことと、素晴らしい大好きな街だ」とお話しされたことを、ガバナー諮問委員会でお話しさせて頂いたことがありました。先生は懐かしそうに「そうでした！これも何かのご縁ですね」と何度も頷いておられました。

岩城パストガバナーは2007年～2012年にかけて地区ロータリー財団委員長として卓越したリーダーシップを持って財団推進に邁進されたことは周知の事でございます。

2012-13年度細川ガバナー年度のガバナー月信最終号の記事に「ロータリー財団も従来とは少しずつではありますが、教育的プログラムから、人道的プログラムへの移行に変化して参りました。特に、財団のプログラムは、「未来の夢計画」により地区が資金管理をすることになりました。」資金管理は先生の専門分野ですのでセミナーの実施や、これからの財団の進むべき道に大きな足がかりを築いて下された事に深甚なる感謝を申し上げ、先生のご意志を嚆矢年度、そして先生が大望し期待しておられた所属クラブ札幌南ロータリークラブから15年ぶりのガバナーとなられる武部賞年度へと継承される事を信じております。

先生が財団委員長として地区が進めているタイ3地区への支援事業に対する検証ツアーに何度か同行されたエピソードを聞いた事があります。「先生は若い方に混じって何段もある山への階段をスタスタと登って行かれたこと、タイの料理は辛いものが多いそうですが、辛いものでも美味しく食べて居られました。」何かそんな光景が目に見えてこの現実を理解できません。

最後に先生とお目に掛かったのは昨年7月末タイ・チェンマイから6名の訪問があり先生は奥様と一緒に参加され、いつもの温かな笑顔で暫くの時間をお楽しみになっておられました。

思い出は尽きませんが、先生がこれまでロータリーに尽くされた御功勞を偲び今後先生のご意志を地区の更なる発展のために尽力することをお誓いし、お浄土での再会を念じて先生への追悼の言葉とします。

合掌

国際ロータリー第2510地区 2002-2003年度パストガバナー 小林 博(札幌北RC)

「先生、がんになっちゃった!」。突然の電話で私は絶句した。急な話に戸惑いながら、「どこのがんだったですか?」と率直にお伺いすると、「縦隔洞腫瘍というものです」。岩城パストガバナーもそれ以上多くを語ろうとしなかったが、「がんはいま非常によく治るようになりましたよ。元気出して頑張りましょう」といって励ました。でもお亡くなりになられる2、3か月前だったであろうか。滅多にないことだが、ある名のおった「うなぎ屋」で岩城ご夫妻とばったりお会いした。普段とあまり変わらない顔色だったので「お元気ですね。よかったですね!」と喜んで楽しい会話でお別れした。

それから数か月後、なんとなく気になってお宅に電話をかけた。何度掛けてもつながらない。そのうち「この電話は現在使われておりません」。奥さまは看病に忙しいのかな。会社に電話をしたが「詳しいことはわかりません」。そのうち、会社の方から「電話をいただいて結構ですよ」との連絡をいただいたので、早速岩城さんの携帯電話に掛けさせていただいた。ちょうどがん専門病院の恵佑会札幌病院から岩城夫人のお姉さまのご主人が主宰される桑園中央病院に転院されたその日だった。「しばらくこちらで静養することにしました」というお話しだったが、いつもの岩城さんらしい生気のある声ではなかった。訃報はそれから間もなくだった。

同じ昭和2(1927)年生まれということもあった。岩城ガバナーのとき私がガバナーエレクトの立場で何かとご指導をいただきながら肝胆相照らす親しいお付き合いをさせて頂いていた。ご夫人の主催される有名な「子どもミュージカル」も楽しく鑑賞させて頂いていた。岩城さんの事務所にもお伺いして、世間話に興じたこともあった。4プラ地下のそば屋でもよくお会いした。いろいろと「ご縁」があったからだと思う。その岩城さんが急にお亡くなりになったことを心から寂しく悲しく思う。天命だと思って諦めざるを得ないのだが…。

岩城さん、どうか安らかに休みなさい。そのうちまたお会いして歓談しましょう。

加藤 正雄(札幌南RC)

当クラブの重鎮、税理士法人岩城会計事務所代表社員、岩城秀晴会員(89歳)が1月24日(土)午前9時20分、病氣療養中のところ、お亡くなりになりました。と言う訃報が事務所から届いた時の驚きは、言葉に言い表せない思いでありました。

私どもの所属している札幌南ロータリークラブの精神的な支柱として、その存在感が大きかった岩城パストガバナーのご逝去は、私達にとって計り知れない大きな損失であります。

2001年～2002年度RI第2510地区ガバナーを務められたときに、私は地区幹事として1年間一緒に仕事をさせて頂きました。

当時を思い起こしてみますと、RIから地区リーダーシッププランが示され、地区区分代理から地区ガバナー補佐へと地区の組織が変更になりました。地区を12グループに分け、12名のガバナー補佐が生まれました。地区ガバナー補佐会議が頻繁に開催され、研修に励んだ事が懐かし思い出されます。

又、岩城ガバナーの指示により地区大会が札幌パークホテル1カ所、記念フォーラム、大会式典、記念講演、新世代プログラム、記念懇親会が好評のうちに執り行われました。コンパクトな地区大会が成功の内に行われた事は、その後の大会運営に示唆を残した事と思っております。

2002年2月に第10・11グループ合同のインターシティ・ミーティングが、函館五稜郭ロータリークラブのホストで開催された時に、岩城ガバナー、第4グループ・西岡ガバナー補佐、第12グループ・渡部ガバナー補佐と参加致しました。大変懐かしい思い出の一つです。又、当時の第11グループ・酒井ガバナー補佐が後に2007年度～2008年度のガバナーになりました。

岩城ガバナーは、パストガバナーになられてから、地区ロータリー財団委員長を2007年度～2013年度まで、7年間の永い間務められました。ロータリー財団に関してはライフワークとして取り組まれ、ロータリー財団週間、ロータリー財団セミナー等を通して、地区・各ロータリークラブで大変熱心に講演されておられました。ロータリー財団に対して多大の貢献をされました。

又、ご自身もメジャードナーレベルII、ベネファクター、ボールハリスソサエティ創立会員、米山功労者メジャードナー、永年出席100%・通算35年等数々の表彰を受けられました。永年にわたる地区並びに札幌南ロータリークラブへの功績を偲び、ここに心から哀悼の意を表しますとともに、故人のご冥福をお祈りいたします。

札幌南ロータリークラブ 創立50周年記念式典が 盛大に挙行されました。

創立50周年記念実行委員会
幹事 加藤 康夫



2015年1月18日(日)、ルネッサンスサッポロホテルを会場に創立50周年記念式典が厳粛なうちに開催されました。願ひますと、札幌東ロータリークラブのスポンサーをいただき、1964年11月13日、34名の会員で創立総会を開き、翌1965年1月20日には国際ロータリーの加盟が認証されました。以来50年、地域にしっかりと根を下ろして個々の目覚ましい奉仕活動を展開して参りました。

さらに今年度は節目に相応しく、故遠藤正之会員に続き当クラブから2人目のガバナーとして、羽部大仁会員を輩出しました。第2510地区の活動がさらに充実していることは皆の認めるところであります。2014年10月4日(土)、5日(日)に開催した地区大会は、後世に語り継がれる大成功であったと感嘆の言葉が寄せられています。

式典は先ず「戦後70年と、これからの社会」と題した作家・ジャーナリストである外岡秀俊氏の記念講演会から始まりました。外岡氏は札幌で育ち大学在学中から小説家として注目を浴びていましたが、朝日新聞に入社しニューヨーク支局、欧州総局長(ロンドン)、東京編集局長などを歴任されました。2011年に早期退職して、現在文筆活動を精力的にすすめています。名声を聞きつけて、聴衆は一般の方々を含め約200人に膨れ上がり、会場は一言も聞きのがすまいという熱気に包まれました。

当クラブの生い立ちから紐解き、札幌の変遷、北海道の現状へと講演は展開し、これから私たちはどう対処しなければならぬかを訴えられました。ジャーナリストとしての本領が発揮された鋭い分析であり、あつという間の2時間でした。

続いて催された記念式典には、上田文雄札幌市長、歴代のバスターガバナー・ガバナーノミニー・地区各クラブの会長・会員をはじめ多くの方々の出席をいただきました。RIからの創立50周年表彰状が羽部ガバナーから手渡され、在籍50年となる2人の創立会員、木村利彦会員、増山三雅男会員もRIから表彰されました。長い期間に渡る両氏の活動に、祝福の惜しめない拍手はしばし止みませんでした。

記念事業・行事として、RI第2580地区の那覇北ロータリークラブとの友好が締結されました。同クラブは創立50周年と若いクラブで会員数は24名ですが、なんと約半分の11名がこのために駆けつけてくれました。折しも暴風雪、前日は新千歳空港に着陸した飛行機が数機という中、これをかい



潜って全員が無事到着できたのは奇跡というほかはありません。ちなみに当クラブの会長・幹事は沖縄でのゴルフしか眼中にない様子でした。

2つ目の事業は、親子合唱大会です。国語力向上と親子の交流を目的とし2009年10月18日に第1回を開催し、今回で6回目です。今までは参加者を豊平区、清田区の小学校に限定していたのを、今回は全市に拡大して募集しました。2014年11月9日(日)に個人の部29名、群読の部6組20名、親子の部6組12名、計61名が参加し、子供たちの素晴らしい能力に感動した発表会でした。

そして、記念ゴルフ大会は2014年10月21日(火)羊ヶ丘カントリークラブを会場として、精鋭47名が結集して競われました。和やかな雰囲気の中でも、目は真剣でした。各クラブから多くの選手を送り出していただき、ありがとうございました。

併せて衛星クラブ設立を進めています。日本の中では先駆的な事業であり、設立準備委員長から詳細な経過が報告されました。

待ってました。祝賀会では肩の力もすっかり抜け、祝いのムードが高まってきました。那覇北ロータリークラブが厳選して持参したミミガー・島らっきょう・ジーマー豆腐が振舞われ、酒が進みました。酒といえば、那覇北さんのために会長が地酒(国産・小林酒造・小樽田中酒造)を特注し、またNHK「マッサン」に因んで、いまではなかなか手に入らない「竹鶴21年もの」を調達しましたが司会が紹介した途端、那覇北さんの口に入る前に地区会員が殺到し、あつという間になくなってしまいました。酒の力は偉大です。

アトラクションでは優勝回数最多を誇る平岸天神による「よさこい演舞」が勇壮に披露され、会場はいやが上にも盛り上がりました。そして、終演かと思いきや、サプライズとして沖縄蛇味線の音が響きわたりエイサー踊りが始まりました。手の振り方の指導の後、全員総立ちとなり一部は舞台上に乱入して場内騒然となり、祝賀ムードは最高潮に達しました。我ながら素晴らしい演出であったと自画自賛しています。

最後に、ご出席いただいたことに謝辞が述べられ、ご期待に違わぬよう、次の50年一層飛躍することを約束申し上げて会を閉じました。

これに懲りずに引き続き当クラブへのご指導、ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。

ローターアクト週間に因んで

地区ローターアクト委員会
委員長 坂井 治(千歳セントラルRC)



世界ローターアクト週間は3月13日の前後1週間です。

5大奉仕のひとつである青少年奉仕の一つとしてローターアクトクラブ(以下RAC)の活動があります。

所属クラブやグループ内にRACを提唱しているクラブがないとRACは何をしているのかご存じない方が多いかもしれません。また何かの機会に活動内容を報告したり地区大会の時にPRブースを設けて活動内容を掲示したりしていますが、なかなか理解してもらえないところまではいかないのが実情だと思います。そこで安孫子ガバナー年度から地区ガバナーにRACの例会を訪問していただくことをお願い、実施してまいりました。その機会に、できればグループ内の各クラブのメンバーの皆さんにもオブザーバー参加していただきRACの活動を実際に見ていただくことによって少しでもRACへの理解と関心を深めていただきたい、また将来のロータリアンとしてRACメンバーにロータリーを理解してもらいたいとの思いでした。

地区内では現在赤平、札幌南、千歳、室蘭北、函館大学の5クラブが活動しています。各クラブの代表的な活動につきましてはそれぞれのクラブからの報告を掲載させていただきます。

ローターアクトにもロータリーと同じように地区組織があります。ガバナーに当たる役職を地区代表と言います。ほかに地区代表補佐、地区幹事、地区会計、地区広報、地区代表ノミニーで地区役員会を構成します。

地区の行事としては年間4回の会長・幹事会、

地区協議会、地区大会、海外研修があります。

地区協議会は各クラブの委員長以上を出席義務とした勉強会を中心とした集まりで懇親会も含めて地区内の結束を強めます。

ローターアクトは18歳から30歳までという年齢制限がありますので地区大会では6月末までに30歳になるメンバーの卒業式も行われ、卒業生を祝福するとともに一年間の活動の集大成として各クラブからの活動報告などが行われます。また第2500地区と交互に地区大会規模の北海道交流会も行っています。これは今年度で13回を数え地区外からの参加者も年々増加し、盛り上がりを見せています。

海外研修は海外旅行とは違い福祉施設を訪問したり、現地のローターアクトメンバーと交流したりすることで相互理解を深め海外と日本の友好の一端を担います。

ほかに任意の活動として地区交流キャンプ、温泉交流会があります。これはローターアクト独自の活動ですが地区交流キャンプでは一泊のキャンプを行いキャンプした場所の周辺の道路清掃、ゴミ拾いなどの奉仕活動も行います。温泉交流会は冬に行われ交流を深めるとともに会長・幹事会も行われます。

ほかにアジア第一ゾーン会議、全国研修会などがあり各ゾーンや全国各地のメンバーが集まります。出席義務者は地区代表、地区幹事、地区代表ノミニーですが、一般会員も参加することができ、全国レベルでの交流ができる貴重な機会になっています。

地区内ローターアクトクラブのご紹介

札幌南 R A C

札幌南RACでは社会人・学生がともに、年間を通し様々な活動を行っております。

社会貢献の一貫として、児童養護施設の夏祭りやクリスマス会のお手伝いを行い、子供達とふれあっています。また他団体と浜辺のゴミ拾いや野球観戦のお手伝い、継続的なエコキャップの回収に努めています。提唱クラブ札幌南RCのポリオ撲滅募金活動・親子暗唱大会のお手伝いや例会出席、小樽RCの潮まつり等の参加を通して、ロータリアンの皆様と交流させて頂いております。メンバーの絆を深め楽しい奉仕活動に繋げるため、ピアガーデン例会や会員の職場体験、川下りやサクランボ祭り等の楽しめるイベントを日頃から企画しています。昨年は、第42回地区協議会や札幌南RAC創立40周年記念式典の企画運営を行いました。このような経験を通し、メンバー個々が自主性やリーダーシップ、協調性を養っています。今年度からの継続事業として、ゴミ拾いをスタートしました。第一弾の今年度は札幌市内を6時間かけ14.5kmを歩き清掃しました。今後も様々な活動を通し、地域・社会貢献に励んでいきたいと考えております。



赤平 R A C

赤平市にある『若葉保育所』と赤平ローターアクトクラブで毎年交流行事を行っています。

こどもたちは親や先生とは違う大人たちとの交流をし、私たちはこども達や保育所の方々と交流を通じて知識の向上に努めています。この行事ではこども達と一緒に季節に応じて畑や花壇作り、雪遊びなどを行う事で体を動かして遊ぶ事、植物に触れる事ができ、私たちがこどもを対象にした企画作りやそれを行う上での危機管理能力なども身につける事が出来ます。

そして、赤平市における保育所利用者の減少という問題も自分の目で見ることが出来る機会となっています。

毎年の恒例行事となっていますので、これからもこの交流会を通じて「アクトとしてこれから何が出来るか」「それを行うには何をすれば良いのか」を考え実行していける様に色々な経験を積み重ねていきたいと思っています。

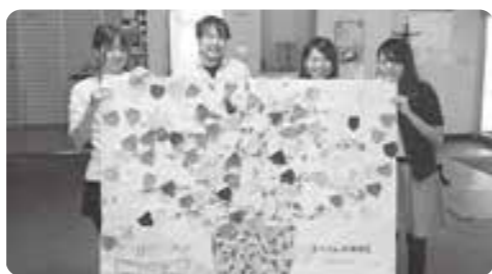


室蘭北 R A C

私たち室蘭北ローターアクトクラブは、エバーグリーン室蘭さん(介護老人保健施設)を訪問し、利用者の方々と交流させて頂きました。

最初にアクトの一人がピエロの格好をし、バルーンアートを披露しました。他のアクトの皆さんもカラフルな風船を手に持ち、一つ一つのグループといろいろお話ししたり、マイクを使ってアートの説明などをしました。

次に、皆さんに折り紙や私たちの作った塗り絵を通して木の葉のモチーフをつくらせていただきました。それを、おきな模造紙に描いた木に貼り付けひとつの作品を作りました。皆さん積極的に作っていただきました。今回は参加していただけた利用者の方々が予想以上に多かったため、私たちははてまで、ローターの方々や施設の方々に手伝っていただきながら無事に終わらせることができました。また、利用者の方々と接するときの注意点などを学ぶことができました。



函館大学 R A C

平成26年10月19日(日)に、函館大学の大学祭が行われました。函館大学ローターアクトクラブでは話し合いの結果、からあげとオニオンリングの販売をすることになり、当日は学生15名が参加しました。

18日には大学祭に向けての前日準備が行われ、それぞれ分担をして和気あいあいと材料の買い出しやテントの設置、看板作りなどに励みました。

そして大学祭当日の天気は快晴で、学生だけでなく一般の方々も多く来場していました。そのためからあげの売れ行きが想定していたものより遥かによく、すぐに在庫がなくなったため大急ぎで買い出しに向かうという事を繰り返しました。当初、からあげ班とオニオンリング班に分かれて作業をする予定でしたが、メンバー総出でからあげ作りをすることとなりました。材料が足りなかったり、買い忘れていたものがあったりと色々反省点はあったものの、みんなで協力しあって無事終了した充実感もあり、とても楽しい経験になりました。



千歳 R A C

千歳ローターアクトクラブの活動をいくつか紹介させていただきます。毎年8月千歳市内で行われる盆踊り大会に出店しています。提唱ロータークラブの皆さんにご協力いただきながら、力を入れている行事の一つです。何種類もの商品を皆で手分けして当日を迎え、毎年お客様の笑顔を見ていとくさんの方々に支えられているという感謝の気持ちでいっぱいになります。

また9月4日は千歳神社のお祭り後に提唱ロータークラブの方々と合同でゴミ拾いをしています。朝5時に集合して、終了後は気持ちよくすがすがしく終えることができました。

三つ目はガバナー訪問例会です。

今年度11月20日、羽部大仁ガバナーをお迎えし卓話をいただきました。仲間という絆の大切さ、感謝の気持ちを忘れない事、協力の大切さ等、学ばせていただき、ガバナーの偉大さを感じ、感銘を受けた例会になりました。次年度の地区協議会のホストを控えメンバー一同、準備を進めているところです。



初めての友情交換事業 — 今度は派遣事業です —

地区奉仕プロジェクト委員会
委員長 出村 知佳子 (札幌北RC)



友情交換事業続編です。

去る2月18日(水)ロイトン札幌にて、台湾第3490地区との友情交換事業の報告会及び派遣オリエンテーションが開催されました。

報告では、受入の様子が写真でスクリーンに写し出され、小樽、札幌、深川、長沼と…雪遊びや、餅つき、羽子板等お正月遊び、鏡割りと日本のお正月と文化体験楽しい様子を皆さんで思い出しました。ご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

今回の派遣団長である熊澤 隆樹 陸樹バスターガバナーを筆頭に12名は、3月5日～10日(5日間)の派遣団訪問の際に、皆さんで歌う「上を向いて歩こう」の合唱練習や、「エイエイオー」の掛け声で団員同士の結束を固めました。

日程表

日数	日付	都市名	スケジュール
1	3/5(木)	新千歳空港発 台北(桃園)着	エバー航空にて 新千歳空港より台北へ
2	3/6(金)		現地ロータリアンと交流 ホームステイ
3	3/7(土)		現地ロータリアンと交流 ホームステイ
4	3/8(日)		現地ロータリアンと交流 ホームステイ
5	3/9(月)		現地ロータリアンと交流 ホームステイ
6	3/10(火)	台北(桃園)発 新千歳空港着	エバー航空にて 台北より新千歳空港へ

国際ロータリー第3490地区(台湾)では、団員の皆さんを歓迎する為に様々な準備をされているところです。

今回の友情交換では受入事業でこの事業の素晴らしさを知ることができました。

派遣事業ではこの友情が更に広がっていくことと思います。

会員皆さんで派遣団を応援し、この事業の更なる輝きを楽しみにしております。



クラブ紹介

えりも ロータリー クラブ



えりもRCは1972年様似RCのスポンサーを頂き、26名の会員で創立されました。

少人数クラブで会員平均年齢は65歳になりますが、創立から現在までガバナー 補佐を6名輩出し、次年度も決定しており積極的な活動をしております。

主に、青少年を軸に毎年「少年野球」「学童バレーボール」大会を主催し、近隣町から小学生、父母約150名以上の参加を頂いております。

また、児童が交通事故に遭わないよう新入学児童全員に「ランドセルカバー」を寄贈、町内のボランティア活動を行っている高校生には優良青少年表彰を、春・秋には町内の清掃活動を行うなど青少年育成や地域との交流を図っております。

クラブの伝統的な考え方を尊重し、新しい風を取り入れ減少会員をできる限り抑制し、新会員の発掘・増強に努力が必要と考え、多方面に視野を広げていける取り組みを進めております。

様似 ロータリー クラブ



様似ロータリークラブは、浦河ロータリークラブのスポンサーを頂き1968年(昭和43年)に発足し、今年で47年を迎えます。現在、様似町の人口は4,702名(平成27年1月末)です。会員数は1月末現在、23名の会員が在籍しておりますが、更なる会員増強と若返りを図ることが最大の緊急かつ最大のテーマであります。

ロータリーを通じて友情を育み、地域に貢献しようと活発な活動を行っております。

交流事業としては、韓国の馬山ロータリークラブとの国際交流をはじめ、えりもロータリークラブとの交流活動は、毎年交互に各地域において交通安全啓発活動を行っております。

また、我々クラブにおいては、ロータリーコンサート、ロータリー文庫の寄贈、新入生への防犯ブザーの寄贈等を毎年行っております。新事業としては、5月にロータリー看板設置を予定しております。5月下旬にはアポイ登山とクリーン作戦を行います。様似町のアポイジオパークが世界ジオパークに向けて国内推薦を受けたのを記念し、第8グループの各クラブに賛同をいただき計画致しました。当クラブは、会員個々が輝くことをめざし、楽しく有意義な活動を進める中で、夜間例会を行うなど、ロータリアンとしての絆をさらに深めながら邁進します。

三石 ロータリー クラブ



三石ロータリークラブは現在会員数が15人と小さなクラブですが、まとまりが良く意思の疎通がとれたチームワークのよいクラブです。例会は楽しく和やかに行われ、クラブの事業や活動に対する議論は活発に交わされます。

地域密着型の奉仕活動に取り組み、町内の病院、老人福祉施設や各スポーツ少年団への支援、植樹、花壇整備、街路清掃活動等を行っています。また、交通安全街頭啓発等の地域ボランティア活動へ参加し地域の方々とのお付き合いも大切にしています。

年に数回開催される夜間例会は大変盛況で親交を深める格好の場となっています。そのなかでも毎年1月に開催するチャリティオークションも兼ねた新年夜間例会は、会員が夫婦で出席し持ち寄った品々を大声で競り落とす、たいへん楽しく賑やかな例会となります。その売上から町の図書館への図書購入費の寄付は今年で36年目となります。

また、国際奉仕事業にも取り組んでおり、タイでのダム建設、クリーンウォーター事業等に積極的に参加しています。さらに、検証ツアーにも同行し現地の方々と友好・親善が深まるよう努めています。

静内 ロータリー クラブ



静内ロータリークラブは三石ロータリークラブをスポンサークラブとして昭和46年に創立、現在64名の会員で構成されている創立44年目のクラブです。

静内には桜の名所として「日本の道百選」や「桜の名所百選」などにも選ばれた桜並木(二十間道路)があります。直線で7キロも続くこの桜並木が二十間道路と呼ばれているのは、左右の桜並木の幅が二十間(約36メートル)あるによるもので毎年5月のゴールデンウィークの頃には、全道はもとより本州各地から多くの花見客が訪れます。

この桜の名所もその半数以上が樹齢80年を超える老木であるためその保全対策が必要となっております。静内ロータリークラブは毎年11月の時期に社会奉仕委員会のプログラムとして桜並木の枯れ枝や折れ枝の回収をして桜並木の維持・管理の一助となるよう多くの会員が奉仕作業をしております。

浦河
ロータリー
クラブ



当クラブは昭和36年9月に創立され、53年の歴史があります。過去に韓国の平和RC、台湾中瀝と姉妹交流なども行っていました。
 バラグアイ日本人学校に本を送る会への奉仕活動は、20年以上継続しております。
 現在会員22名ですが、会員一丸となってクラブ運営に努めております。
 月に2回外部卓話で講師を招き、移動夜間例会も月1回行い、会員の親睦を図っております。
 楽しく会員が例会に参加できるよう企画しておりますが、会員や環境が変化するほか、クラブ活動等も変化させる必要があると日々模索しているところであります。

サンパウロ国際大会日本人親善朝食会
中止のお知らせ

拝啓 厳寒の候、各地区ガバナーにおかれましては益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。
 今年度、サンパウロ国際大会の日本人親善朝食会の準備をしておりましたが、サンパウロは、当日市内は大変混雑するそうです。市内あちこちのホテルからお集まりいただき、更に終了後、大会会場へ移動していただくのに又相当な渋滞に巻き込まれることが予想されます。そのような混乱を招くことを避けるために、今年度はやむなく中止することに致しました。大変残念ですが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

敬具

国際ロータリーRI理事 杉谷 卓紀
 RIサンパウロ国際大会委員会 アドバイザー 小沢 一彦

特集 姉妹クラブのご紹介 ～パート2～

苦小牧北ロータリークラブと宮城県石巻ロータリークラブとの
友好クラブ締結の経緯とその後の数奇な物語

苦小牧北ロータリークラブ

第2510地区第12グループ苦小牧北RCと第2520地区第5分区石巻RCとはクラブとしても私個人としても奇妙な因縁で結ばれています。

発端は昭和63年、我がクラブの協議会において当時副会長であった藤倉澄雄会員からの提案でした。「私は鉄鋼工業・管工業を扱う企業に従事しているが、我が社の支店が宮城県の石巻にあり、その支店長が伝統ある石巻RCの会員で、たまたま次年度お互いそれぞれのクラブの会長に就任する。今後のクラブの新規事業を計画するなかで当クラブと石巻クラブとの姉妹クラブ締結を検討していただけないか。」ということでした。当時は苦小牧市と石巻市では藤倉会員の企業以外に直接的関係は見当たらず、肯定・否定の意見が噴出しました。当クラブは会員数70名前後の最盛期、かたや石巻クラブは会員数20名程度でしたから、私は如何にしてこの70名余りの会員に姉妹クラブ締結を納得してもらうかというための資料作りに奔走しました。

石巻は風光明媚の伝統ある市であることや、苦小牧市と石巻市は共に港湾都市であり、苦小牧には王子製紙、石巻には十條製紙という日本を代表する製紙工場が存在するという点も会員納得のひとつとなりました。結局、「友好クラブ」から「姉妹クラブ」へと段階を踏もうということに現在に至っております。その後ほぼ隔年毎にお互いのクラブを訪問、懇親会・観光・ゴルフという形で友好・友情関係が維持されてきました。

ところが、私が会長就任時の平成23年2月、当クラブより会員10数名で石巻RCを訪問するまさに直前、あの東日本大震災が勃発しました。巨大地震による巨大津波は旧北上川を50kmも逆流するという凄まじいエネルギーで石巻市を飲み込み、石巻市の人口3700人が失われました。

個人的なことですが、私の娘婿の実家が旧北上川沿いの不動町にあり、姑と婿の弟が行方不明となりました。私は会長職にありましたので石巻RCとのコンタクトを、さらに行方のわからない娘の姑、義弟とコンタクトを取ろうと必死でした。恥ずかしい話ですが、石巻RCと私の身内の安否が判明する1ヶ月間位、私の会長報告はとて辛くつい涙声になってしまったことを鮮明に記憶しております。

たまたま石巻RCには娘婿の関係で親戚になった会員がおり、震災後2週間位で連絡がとれました。「石巻は入り口の港と山を残してなにもなくなりました。」と聞いたときは、私も暗澹たる思いでした。それでも我がクラブ会員達の必死の努力で石巻の他の会員とも連絡がとれ、それによると、「幸い当時18名の石巻RC会員は無事でしたが、ご家族や会社を失われた会員も複数おられた。」とのことでした。私の身内も泥水に首まで浸かりながらも生還しました。

その後石巻RCへはその年4月末、4名の会員がキャンピングカーで訪問し、翌年の平成24年には有志の会員数名が直接お見舞い金を持参しました。

通常であれば石巻RCの解散は止む無しと思われましたが、平成25年6月には会員数が20名に増強され、半数以上の会員が我がクラブを来訪して旧交を温めました。我がクラブからも15名の会員が平成26年4月末に訪問しましたが、被災地の視察を行い、未だに殆どの復興が行われていないことに心を痛めました。日本人として是非一度は被災地を訪問すべきであると強く感じました。

さて、本年5月末には石巻RCの創立60周年記念式典が予定されております。我が友好クラブである石巻RCはまさに「ロータリー精神の鑑」です。末永く友好関係を維持していこうと更に決意を新たにしています。

(菊地 芳彦)



私の雑想ノート No.9

日本の職業奉仕観の底流にある思考 ロータリアン二宮尊徳翁

バストガバナー
塚原 房樹
(札幌東RC)



今年度のホーンRI会長は、「私は儒教の祖、孔子を世界最初のロータリアンと呼んでいます。孔子はロータリーが創立される2500年前の人物であるにもかかわらず、ロータリーの考え方や彼の考え方が非常によく似ているからです」とRI会長就任の際に述べられました。孔子がその中心にすえたのは、「仁」すなわち人を思いやる人間関係の基本でした。

昨年の暮れに小田原の報徳二宮神社に参詣する機会を得ました。神社の入り口に、最近見られなくなった薪を背負って歩きながら本を読む二宮金次郎少年のブロンズ像がありました。皆さんは金次郎少年が読んでいる本を御存じでしょうか。二宮金次郎少年が読んでいる本は孔子が提唱した儒教の経書の一つ「大学」です。「大学」は天下を治める治世の根本原則を述べています。

従って江戸時代後期の農政家、思想家であった二宮尊徳翁の報徳=奉仕の訓えにも儒教の「仁」が根底にあります。尊徳翁は「我が宗教は神道一割、それに儒教、仏教各半々ずつを加味したものであり、神道は社会のために力を尽くし、儒教は人の道を全うし、仏道は慈悲を行うものであるといわれました。

私はかねてより二宮尊徳翁を日本のロータリアンの祖と考えていました。「人もし何か欲するところあるならまず他人のために働くがよい。そうすれば必ず人に報いられて願望を満足するであろう」。二宮尊徳翁はシェルドンの80年前に誕生、すでに「もっともよく奉仕するもの、最も多く報いられる」というシェルドンの奉仕コンセプトを提唱していました。

また尊徳翁の道徳経済一元論、「道徳なき経済は犯罪である」「経済無き道徳は寝言である」という言葉は、ロータリーの実践倫理運動の一面をよく表しています。ホーンRI会長(台湾)と尊徳翁(日本)の共通点は根底に儒教の訓えがあります。また韓国も儒教を信奉している国です。従ってこの東アジアの三国のロータリアンの奉仕哲学の根底にあるものは、五常(仁、義、礼、智、信)の徳性を拡充することにより、父子、君臣、夫婦、長幼、朋友の五倫の道をまっとうすることでありました。

現在、企業の倫理や存在価値が問われるなか、国際標準化により「コンプライアンス」や「CSR」など、海外からの思想や経営論などが取り入れられておりますが、日本には江戸時代から、「財政再建」「格差」「貧者救済」「自然との共生」など、現代が抱える諸問題を神・儒・仏をあわせた「日本人の心」を持って考え、実践し、そして復興に導いた二宮尊徳翁がいたのです。

次回は日本とアメリカのロータリーにおける「職業奉仕」の背景について申し上げます。

職業奉仕委員会から

ロータリーの本の紹介

「ロータリー通解」

A Talking Knowledge of Rotary

ガイ・ガンディカー 著 小堀憲助訳並びに解説

1916年、ロータリーの基本理念と原則を一冊のパンフレットの形で著す企てが、「RI理論及び教育担当委員会」によりなされた。委員長はフィラデルフィアRC会員のレストラン経営を職業分類とするガイ・ガンディカー(弁護士)であり、彼の手によるこのパンフレットは「A Talking Knowledge of Rotary」と呼ばれている。このパンフレットは当時のロータリアンに対して、ロータリーとは何かを教えるために書かれたものである。この「ロータリー読本」「ロータリー入門」とした方が分かり易いであろう。初めてこれを邦訳したのが小堀憲助氏であるが(1971年)、この本は18年後に刊行された第三刷であり、小堀氏のロータリーを精通し尽くした名訳であるとともに、その深奥を極めた明快な解説が載せられている。

職業奉仕のミニ情報

「親睦」と「奉仕」という言葉は、ロータリーを理解するには避けて通れない言葉であるのだが、昨今ではその説明はどこにも見当たらない。2001年度版の手続要覧には「Service(奉仕)」の説明だけはあったのだが、2004年度版ではそれも削除されてしまった。次の部分である。【ロータリーは、職業奉仕という言葉を使用するに当って、「Service(奉仕)」と言う文字をその一番広い意味で使っており、単に事業あるいは専門職務における取引行為や販売された商品を指すのみでなく、相手のニーズと境遇に対して正当な考慮を払い、他人に対して思いやりや心をもつことも指しているのである】ロータリーはその黎明期より哲学であるとか思想であるとか言われてきたが、何故このような大切な言葉の説明が削除されてしまうのか。

米山便り

おもしろおかしく ハングリーで 最高の1年

米山奨学生
チャン・バオ・ゴック
(札幌モーニングRC)



北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 修士2年生のチャン・バオ・ゴックです。

私の研究は「ベトナムにおけるCSRとブランドイメージに及ぼす影響」です。修士論文の提出を終えた今、5年に亘る私の日本での生活は、申し分のないものになりました。

米山奨学生になり、大勢の優秀な人や新しい友達に出会えました。おかげで、北海道が好きでたまらないベトナム人になってしまいました。それは、札幌を舞台とするベトナムの人気TV番組に出演者として参加するほどです。

さらに、日本の絵本の魅力をベトナムに紹介するため、絵本を選択し、翻訳などを手伝いました。故郷の貧しい少数民族の子供達のための小さな図書館も作りました。彼らの笑顔が何よりの喜びです。

今後の夢はだれよりも沢山ありますが、「夢は見るものではなく叶えるもの」だと考えています。小さいことからコツコツやっていきたいです。Do small things with great love.

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩見沢RC 赤山 登 会員 (1回) 1月30日	岩見沢RC 佐藤 紀征 会員 (5回) 1月30日
岩見沢RC 藤田 亨 敦 会員 (1回) 1月30日	岩見沢RC 竹内 守 会員 (7回) 1月30日
岩見沢RC 兼行 四男美 会員 (1回) 1月30日	岩見沢RC 臼杵 努 会員 (1回) 1月30日
岩見沢RC 北澤 治雄 会員 (4回) 1月30日	岩見沢RC 山岡 秀一 会員 (1回) 1月30日
岩見沢RC 岡本 等 会員 (4回) 1月30日	岩見沢RC 山崎 康行 会員 (2回) 1月30日
岩見沢RC 大西 敏雄 会員 (4回) 1月30日	札幌RC 横井 久 会員 (1回) 1月20日
岩見沢RC 大屋 均 会員 (7回) 1月30日	札幌RC 劉 逸民 さん (10回) 1月21日 (元米山奨学生)
岩見沢RC 嵯峨 義輝 会員 (5回) 1月30日	
岩見沢RC 齋藤 聡 会員 (1回) 1月30日	札幌西RC 森谷 明弘 会員 (12回) 1月27日

米山功労クラブ

岩見沢RC 30回 1月30日	札幌RC 33回 1月21日
-----------------	----------------

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC 五十嵐 閣 会員 (3回) 1月	岩見沢RC 牧 陽一 会員 (2回) 1月
岩見沢RC 北澤 治雄 会員 (1回) 1月	札幌RC 横井 久 会員 (2回) 1月

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC 齋藤 聡 会員 1月

My Rotaryに ご登録下さい。

マイロータリーには、
今必要な情報や資料が
あります。



<https://www.rotary.org/myrotary/ja>

2015年3月のロータリーレート 1ドル 118円

新会員の紹介 敬称略



苫小牧東RC
鈴木 幸忠
入会日:1月2日
職業分類:司法書士



札幌はまなすRC
尾上 忠司
入会日:1月6日
職業分類:建設リフォーム



札幌はまなすRC
丸山 智裕
入会日:1月6日
職業分類:廃タイヤリサイクル



千歳RC
岡崎 進
入会日:1月8日
職業分類:美容業



千歳RC
木村 聡史
入会日:1月8日
職業分類:管工業



札幌北RC
瀧澤 隆之介
入会日:1月9日
職業分類:弁護士



小樽南RC
富永 眞秀
入会日:1月9日
職業分類:僧侶



小樽南RC
福井 豊司
入会日:1月9日
職業分類:電気工事



小樽南RC
林 正章
入会日:1月9日
職業分類:司法書士



室蘭北RC
工藤 一人
入会日:1月20日
職業分類:鉄骨工事

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



神島 章会員
(室蘭北ロータリークラブ)
2014年12月25日ご逝去(享年78歳)
【ロータリー歴】
1988年12月20日 入会
2005~2006年度 会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



下地 晋会員
(室蘭北ロータリークラブ)
2015年1月30日ご逝去(享年87歳)
【ロータリー歴】
1972年1月1日 入会(チャーターメンバー)
1986~1987年度 会長
2011~2012年度 創立40周年大会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

文庫通信



(329号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。
以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕について

[下記申込先:ロータリー文庫]

- ◎「アーサー・フレデリック・シェルドンの生涯とその学説の特質について—純粋理論の立場から」(純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学) 小堀 憲助 2009 54p
- ◎「職業奉仕を考える」 田中 作次 2014 3p (D.2770月信)
- ◎「職業奉仕は日本が元祖 土屋元作」 塚原 房樹 2014 1p (D.2510月信)
- ◎「『職業奉仕』知る(to know)と成る(to be)」 塚原 房樹 2014 1p (D.2510月信)
- ◎「職業奉仕月間によせて」 池田 徳博 2014 1p (D.2800月信)
- ◎「てんびんの詩」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
- ◎「ロータリーの目的」 久野 薫 2014 1p (D.2680月信)
- ◎「職業奉仕とは」 深川 純一 尾道東RC 2014 20p
- ◎「超入門 職業奉仕の入口」 村井 総一郎 2014 36p [左記申込先:早川和男 FAX(052)783-3818]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝日

2014-2015年度 RIテーマ LIGHT UP ROTARY

出席率・会員数

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2015.1.31	増減	内女性	
1	深川	4	33	35	2	2	84.94
	羽幌	4	47	47	0	2	80.32
	妹背牛	4	10	12	2	0	79.16
	留萌	3	40	41	1	3	84.09
	小計		130	135	5	7	82.13
2	赤平	4	29	29	0	0	81.70
	芦別	4	37	36	-1	2	80.30
	砂川	4	38	37	-1	0	95.21
	滝川	4	81	84	3	3	74.00
	小計		185	186	1	5	82.80
3	美唄	4	30	31	1	0	83.82
	江別	4	32	32	0	1	78.13
	江別西	4	25	26	1	3	91.30
	岩見沢	4	74	75	1	0	91.20
	岩見沢東	4	23	23	0	3	75.65
	栗沢	4	24	23	-1	1	84.10
	栗山	3	24	25	1	4	93.22
当別	4	25	28	3	0	83.04	
	小計		257	263	6	12	85.06
4	札幌	4	112	127	15	0	97.72
	札幌はまなす	3	12	16	4	2	85.42
	札幌北	3	33	35	2	3	95.10
	札幌モーニング	4	40	42	2	0	64.86
	札幌西	4	50	54	4	8	84.48
	札幌西北	4	31	31	0	3	83.80
	札幌手稲	4	37	37	0	3	92.77
	小計		315	342	27	19	86.31
5	札幌東	4	114	123	9	0	98.48
	札幌清田	4	17	17	0	4	100.00
	札幌幌南	4	57	61	4	5	100.00
	札幌真駒内	4	22	24	2	4	100.00
	札幌南	2	78	80	2	0	97.50
	札幌大通公園	4	12	13	1	1	65.38
	小計		322	341	19	16	93.76
6	岩内	4	18	19	1	1	88.85
	倶知安	4	40	40	0	5	60.00
	小樽	4	73	75	2	0	78.95
	小樽南	4	71	76	5	2	84.73
	小樽銭函	4	19	19	0	1	80.00
	蘭越	3	11	11	0	0	78.76
	小計		277	286	9	13	79.60

- 1月出席率・会員増減数
 ●クラブ数 70クラブ
 ●期首会員数 2,497人
 ●当月末会員数(女性) 2,592人(118人)
 ●増加会員数 95人
 ●当月平均出席率 82.39%

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2015.1.31	増減	内女性	
7	千歳	4	52	58	6	5	86.75
	千歳セントラル	4	31	35	4	3	70.00
	恵庭	3	46	47	1	2	81.11
	北広島	4	17	17	0	1	82.00
	長沼	2	19	19	0	3	76.00
	由仁	4	5	8	3	0	65.63
	小計		170	184	14	14	76.92
8	えりも	4	20	21	1	1	90.48
	三石	3	15	15	0	2	75.90
	様似	4	24	23	-1	1	86.41
	静内	4	60	63	3	0	85.50
	浦河	3	22	22	0	0	100.00
		小計		141	144	3	4
9	伊達	4	57	56	-1	0	84.11
	室蘭	4	37	35	-2	0	55.72
	室蘭東	4	35	35	0	0	76.40
	室蘭北	4	40	39	-1	3	68.35
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	3	8	7	-1	0	76.20
	小計		208	203	-5	4	74.11
10	函館	4	81	84	3	1	79.29
	函館亀田	3	41	43	2	5	94.33
	森	3	39	39	0	0	70.00
		小計		215	216	1	8
11	江差	4	10	12	2	1	61.70
	函館五稜郭	3	46	50	4	0	87.92
	函館東	4	46	48	2	5	75.28
	函館北	4	21	22	1	0	94.32
	北斗	4	14	14	0	0	66.70
	松前	2	4	4	0	0	75.00
	小計		141	150	9	6	76.82
12	白老	3	31	32	1	2	87.40
	苫小牧	4	48	53	5	2	83.41
	苫小牧東	4	27	28	1	5	85.39
	苫小牧北	4	30	29	-1	1	86.50
	小計		136	142	6	10	85.68
	合計		2,497	2,592	95	118	82.39

地区カレンダー(3月・4月)

3月 識字率向上月間	
1(日)	2015年3月終了米山奨学生歓送会(札幌)
2(月)	
3(火)	
4(水)	
5(木)	～10(火) 第2510地区ロータリー友情交換・台湾訪問
6(金)	
7(土)	
8(日)	
9(月)	
10(火)	
11(水)	
12(木)	
13(金)	
14(土)	～15(日) 2015-16会長エレクト研修セミナー(岩見沢)
15(日)	地区財団・米山セミナー(岩見沢)
16(月)	
17(火)	
18(水)	
19(木)	
20(金)	
21(土)	春分の日
22(日)	第7回 国際ロータリー全国RYLA研究会(東京)
23(月)	
24(火)	
25(水)	
26(木)	
27(金)	
28(土)	第7・8・9・12グループ職業奉仕フォーラム(苫小牧)
29(日)	第6グループIM(蘭越)
30(月)	～31(火) 国際ロータリー会員基盤向上セミナー(東京)
31(火)	

4月 ロータリー雑誌月間	
1(水)	
2(木)	
3(金)	
4(土)	第2グループIM(赤平)
5(日)	
6(月)	
7(火)	
8(水)	
9(木)	
10(金)	
11(土)	2015-16地区研修・協議会打合せ会議(岩見沢)
12(日)	2015-16地区研修・協議会(岩見沢)
13(月)	
14(火)	
15(水)	
16(木)	
17(金)	
18(土)	～19(日) 地区RYLAセミナー(札幌)
19(日)	
20(月)	
21(火)	
22(水)	
23(木)	
24(金)	～25(土) 韓国第3700地区大会(大邱)
25(土)	第4・第5グループ合同IM(札幌)
26(日)	
27(月)	
28(火)	
29(水)	昭和の日
30(木)	



表紙の解説

今月号に愈々松尾芭蕉が登場しました。「草の戸も 住替る代ぞ 雛の家」を書くことにしました。この句は芭蕉が元禄2年陸奥に旅立つ前に芭蕉庵を立ち退いた後、女の子のいる家族が移り住んだようです。その子のために飾られる雛人形を想像して詠んだものなのでしょう。従って今月はお内裏様とお雛様を書きました。

おくの細道の序分に出てくる句です。芭蕉が旅立つ前に、長旅になることを思い住み慣れた草庵を人に譲って、杉風の別宅に身を寄せて詠んだとされています。

この前文も又有名ですね。「月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也。舟の上に生涯をうかべ馬の口とらえて老をむかふるものは、日々旅にして、旅を栖とす。」と重大な覚悟をもって出発したものと窺えます。

はぶあナイスの最後に触れました山本惟一教授は、著書「京近江の蕉門たち」の中に芭蕉は無常観の人であったと記されています。与謝蕪村と小林一茶についても述べています。蕪村は浄土宗の僧侶であり、一茶は浄土真宗の熱心な信者でした。その為か人間の奥底にある煩悩やそこから逃げ出そうとする心の在り方が微妙に重なり合う様を感じます。

山本教授のお嬢さんは、私の大学の2年先輩で福山のお寺に嫁がれました。そこの檀家総代が松本卓臣元RI理事(財務長)で、その息子さん(我が地区大会の会長代理をお勤め下された第2710地区松本茂太郎バスターガバナー)です。

又山本教授の息さんは第140回直木賞を受賞した「利休にたずねよ」の著者の山本兼一氏です。しかし彼は昨年2月13日に57歳で癌で亡くなってしまいました。

彼から贈られた「利休にたずねよ」は寂しく本箱にあります。聞くところでは山本家の先祖は新潟の真宗寺院で私の先祖も新潟の出身なのでこれまた不思議なご縁を感じます。次回ガバナー月信でお会いしましょう。

羽部